

あなたの声をお聞かせください

男女共同参画・多文化共生に関する市民アンケート 調査票

～調査ご協力のお願い～

市民の皆様には、日頃から市政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、皆様に男女共同参画及び多文化共生に関するお考えやご意見をお聞きし、今後の計画の策定・推進の参考とするため、意識調査を実施することになりました。

なお、調査にあたりましては、市内在住の18歳以上の方々2,000人を無作為に選ばせていただき調査票をお送りしています。この調査の結果は、計画推進の目的のみに使用するものであり、他の目的に使用することや内容についてご迷惑をおかけすることは決してありません。

お忙しいところお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年●月 湖西市長 影山 剛士

【ご回答にあたって】

対象	市内在住の満18歳以上の方から無作為に抽出した2,000人の市民	
調査基準日	令和●年●月●日	
回答者	<ul style="list-style-type: none"> ・この調査は、宛名のご本人が、ご自身のお考えをお答えください。 ・宛名のご本人がご病気などで、自分で答えるのが難しい場合は、ご家族またはお世話をなさっている方が記入のお手伝いをしていただいても構いません。 ・回答はすべて無記名です。<u>個人が特定されることはありません。</u> 	
回答方法	<p>下記のいずれかの方法でご回答ください。</p> <p>ア) この調査票（紙）の郵送による回答 この調査票に直接記入し、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、郵便ポストに投函してください。</p> <p>イ) オンライン回答フォームによる回答</p> <p>①オンライン回答フォームへアクセス URL: _____</p> <p>②調査票ID入力（この調査票の右上の●桁の番号） ※IDは重複回答を避けるために調査票に割り振られたものであり、個人情報に紐づくものではありません。安心してご入力ください。</p> <p>③回答フォームに入力</p>	二次元 コード
回答期限	令和●年●月●日（●）までにご回答ください。	
集計・公表	<ul style="list-style-type: none"> ・調査結果は、市ウェブサイトにおいて公表いたします。 ・回答内容はすべて統計的に処理し、<u>個人情報公表されることはありません。</u> 	

問合せ先：湖西市市民安全部市民課 〒431-0492 静岡県湖西市吉美3268番地

(TEL) 053-576-1213 (FAX) 053-576-4880 (MAIL) kyodo@city.kosai.lg.jp

I あなたのことについてお伺いします（それぞれ1つだけ○をつけてください）

（問1）性別	1. 男性 2. 女性 3. その他（ ） 4. 回答しない
（問2）年齢 ※令和6年●月●日現在	1. 18～24歳 2. 25～29歳 3. 30～34歳 4. 35～39歳 5. 40～44歳 6. 45～49歳 7. 50～54歳 8. 55～59歳 9. 60～64歳 10. 65～69歳 11. 70～74歳 12. 75歳以上
（問3）お住まいの地区	1. 湖西中学校区 2. 岡崎中学校区 3. 白須賀中学校区 4. 鷺津中学校区 5. 新居中学校区
（問4）自身の職業 ※兼業の方は主なものをお選びください。	1. 正規雇用者（会社員・公務員など） 2. 非正規雇用者（パート・派遣社員など） 3. 自営業（農林漁業・商工業など） 4. 専業主婦・主夫 5. 学生 6. 無職 7. その他（ ）
（問5）業種 ※兼業の方は主なものをお選びください。	1. 農林漁業 2. 建設業 3. 製造業 4. 電気・ガス・熱供給・水道業 5. 情報通信業 6. 運輸業 7. 卸売・小売業 8. 金融・保険業 9. 不動産業 10. 飲食店・宿泊業 11. 医療・福祉 12. 教育・学習支援業 13. サービス業 14. その他（ ）
（問6）未婚・既婚別	1. 未婚 2. 既婚（事実婚・同性カップル等を含む） 3. その他（離別・死別など）
（問7）配偶者・パートナーの職業 ※〈問6で「2. 既婚（事実婚・同性カップル等を含む）」とお答えの方	1. 正規雇用者（会社員・公務員など） 2. 非正規雇用者（パート・アルバイト・派遣社員など） 3. 自営業（農林漁業・商工業など） 4. 専業主婦・主夫 5. 学生 6. 無職 7. その他（ ）
（問8）家族構成 （同居家族）	1. ひとり暮らし 2. 夫婦のみ（事実婚・同性パートナーなど） 3. 両親と子 4. 親・子・孫 5. 母と子 6. 父と子 7. その他（ ）

(問9) 同居している一番下のこども	1. 3歳未満 2. 3歳以上の未就学児 3. 小学生 4. 中学生 5. 高校生	6. 短大・専門・大学生 7. 社会人 8. 同居している子どもはいない 9. その他 ()
(問10) あなたの介護の状況	1. 現在、家族を介護・介助している 2. 現在、家族を介護・介助していない	

Ⅱ 以下の言葉・考え方についてお伺いします

問11 次の言葉・考え方についてどのくらい知っていますか。(それぞれ1つを選択)

	よく知っている (言葉の意味や最近の ニュースを知っている)	少し知っている (言葉の意味は 知っている)	言葉だけ知っている (聞いたことはある)	知らない
① 男女共同参画	1	2	3	4
② リプロダクティブ・ヘル ス/ライツ	1	2	3	4
③ 性的マイノリティ(また はLGBTQ+)	1	2	3	4
④ 多文化共生	1	2	3	4

Ⅲ 社会における男女平等についてお伺いします

問12 『男は仕事、女は家庭』というような男女の役割を固定的に考えること(性別役割分担意識)について、あなたはどのようにお考えですか。(1つを選択)

- | | | | |
|----------|----------------------|---------------------|---------|
| 1. 同感しない | 2. どちらかといえば
同感しない | 3. どちらかといえば
同感する | 4. 同感する |
|----------|----------------------|---------------------|---------|

問13 問12のように考えるようになった理由を選んでください。(もっともあてはまるもの1つに○)

- | |
|-----------------------------------------|
| 1. こどもの頃、親からそのように教えられたから |
| 2. こどもの頃、学校でそのように教えられたから |
| 3. 周囲の人(友人や知人、配偶者など)の考えに影響を受けたから |
| 4. メディア(新聞・テレビなど)の情報を見聞きして影響を受けたから |
| 5. メディア(インターネット・SNSなど)の情報を見聞きして影響を受けたから |
| 6. そのほうが自然だと思うから |
| 7. その他(具体的に: _____) |
| 8. 特にない |

問14 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。

(それぞれ1つを選択)

	男性が非常に 優遇されている	どちらかといえ ば男性が優遇さ れている	平 等	どちらかといえ ば女性が優遇さ れている	女性が非常に 優遇されている
① 家庭生活	1	2	3	4	5
② 職場	1	2	3	4	5
③ 就職	1	2	3	4	5
④ 学校教育の場	1	2	3	4	5
⑤ 地域(自治会・PTA等)	1	2	3	4	5
⑥ 政治の場	1	2	3	4	5
⑦ 法律や制度の上	1	2	3	4	5
⑧ 社会通念や慣習・しきたり	1	2	3	4	5
⑨ ドラマ・漫画・文化	1	2	3	4	5
⑩ 社会全体	1	2	3	4	5

問15 男女が不平等を感じないようにするために、重要なことは何だと思いますか。

(複数選択可)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 性差別につながる法律や制度の見直し 2. 性別に関する偏見や社会通念、慣習がなくなること 3. 女性が社会進出すること 4. 一定の割合で女性を重要な役職に登用する制度を充実すること 5. 育児休業・休暇や介護休業・休暇を取得しやすい社会づくりを進めること 6. 子育てや介護、地域活動に男性が参画すること 7. 学校や生涯教育の場で男女平等教育を推進すること 8. 男女平等に関する普及啓発を充実すること 9. その他(具体的に: _____) 10. 特にない

問16 男女の平等を達成するために、今後、行政はどのようなことに力を入れるとよいと思いますか。

(最もあてはまるものに○)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報発信を通じた啓発活動の充実 2. 相談窓口の充実 3. 小中学校などの学校教員や行政職員への研修 4. 政策決定や審議会への女性の積極的な登用 5. 働きやすい職場環境づくりへの働きかけ 6. 男女のニーズの違いに配慮した防災に関する啓発 7. 男性の家事や育児への参画を促進するための啓発・支援 教育・支援の充実 8. 女性の就職(再就職)支援

9. 保育所、放課後児童クラブ（学童保育）などの施設・サービスを整備すること

10. その他（具体的に：_____）

IV 家庭生活における役割分担についてお伺いします

問17 次のことがらについて、家庭の中で誰が行うのが望ましいと思いますか。

配偶者・パートナー・子ども・要介護者がいない方は、現在の考え方でお答えください。

（それぞれ1つを選択）

	主に男性 が行う	男性と女性が 同程度行う	主に女性が行う	そのときできる方 が行う（性別で役割 を決めない）	サービス・ 便利な家電 などを利用する
①生活費を稼ぐこと	1	2	3	4	5
②日常の家計管理	1	2	3	4	5
③食事作り	1	2	3	4	5
④家の力仕事	1	2	3	4	5
⑤洗濯	1	2	3	4	5
⑥掃除	1	2	3	4	5
⑦ゴミ出し	1	2	3	4	5
⑧子どものお世話	1	2	3	4	5
⑨子どもの進路相談	1	2	3	4	5
⑩日用品の買い物	1	2	3	4	5
⑪高価な契約 （住宅・車など）	1	2	3	4	5
⑫家族の介護	1	2	3	4	5
⑬地域行事の役員	1	2	3	4	5
⑭地域行事への参加	1	2	3	4	5

V 職業や労働についてお伺いします

問18 あなたは、「女性と職業」についてどのようにお考えですか。（1つを選択）

1. 女性は職業をもたないほうがよい
2. 結婚するまで職業をもつほうがよい
3. 子どもができるまで職業をもつほうがよい
4. 出産・育児期間は仕事をやめ、成長したら再び職業をもつほうがよい
5. 定年（生涯）職業をもち続けるほうがよい
6. その他（具体的に：_____）
7. わからない

問19 男性と比較した場合、現在の女性の働きやすさの状況について、どのように思いますか。（1つを選択）

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. たいへん働きやすいと思う | 2. ある程度働きやすいと思う |
| 3. あまり働きやすいと思わない | 4. 働きやすいと思わない |
| 5. わからない | |

〈問19で「3.～4.」とお答えの方に伺います。〉

問20 女性が働きやすい状況の原因は何だと思いますか。(複数選択可)

1. 結婚や出産を機に退職する慣習や圧力があること
2. 夫（パートナー）や家族の理解や協力が十分でないこと
3. 賃金、昇進などの面で男性と同等の待遇になっていないこと
4. 男性よりも家事・育児・介護の負担が大きい中で働くこと
5. 家事や育児は主に女性が担うものという社会の風潮があること
6. 日本には、そもそも長時間労働や休日出勤のある仕事が多いこと
7. 育児休業・休暇が取得しにくいこと
8. 育児施設の不足
9. 介護休業・休暇が取得しにくいこと
10. 介護施設の不足
11. 女性の上司に対して身構えたり、抵抗感のある部下や同僚がいること
12. その他（具体的に：_____）

問21 育児や介護を行うために、育児休業・休暇や介護休業・休暇を取得できる制度があります。この制度を活用して男性が育児休業・休暇や介護休業・休暇を取ることに、あなたはどうかお考えになりますか。(それぞれ1つを選択)

	積極的に取った方が良い	どちらかといえば取った方が良い	どちらかといえば取らない方が良い	取らない方が良い
①育児休業・休暇	1	2	3	4
②介護休業・休暇	1	2	3	4

問22 現在お勤めの方だけに伺います。あなたの職場では、男性の育児休業・休暇や介護休業・休暇が取得しやすい環境。(それぞれ1つを選択)

	取得しやすい	やや取得しやすい	やや取得しにくい	取得しにくい	わからない
①育児休業・休暇	1	2	3	4	5
②介護休業・休暇	1	2	3	4	5

問23 現在お勤めの方だけに伺います。あなたの職場の男性は、育児休業・休暇や介護休業・休暇をどのくらいの期間取得していますか。おおよその期間でお答えください。(それぞれ1つを選択)

	1日以上 5日未満	6日以上 1か月未満	1か月以上 3か月未満	3か月以上 6か月未満	6か月以上	周りで取得した 男性はいない	わからない
①育児休業・休暇	1	2	3	4	5	6	7
②介護休業・休暇	1	2	3	4	5	6	7

Ⅵ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）についてお伺いします

問24 あなたの生活の中で、「仕事」「家庭生活」「個人の生活」について、優先させたいものの理想と現実を教えてください。

※「個人の生活」とは、趣味・学習・社会活動・付き合いなどを指しています。

(A、Bについてそれぞれ1つを選択)

	「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	「個人の生活」を優先	「仕事」と「家庭生活」をともに優先	「仕事」と「個人の生活」をともに優先	「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先	「仕事」と「家庭生活」と「個人の生活」をすべて優先
A 理想の生活	1	2	3	4	5	6	7
B 現実の生活	1	2	3	4	5	6	7

VII ドメスティック・バイオレンス (DV) についてお伺いします

☆立ち入った質問になりますが、この調査は無記名で行っておりますので、回答された方に御迷惑がかかることは一切ありません。調査へのご協力をお願いします。

問25 あなたは、次のようなことが配偶者やパートナーなどから行われた場合、暴力だと思いますか。

(それぞれ1つを選択)

	どのような場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	暴力にあたらなと思う
①平手で打つ	1	2	3
②足で蹴る	1	2	3
③からだを傷つける可能性のある物などで殴る・物を投げる	1	2	3
④殴るふりをして、おどす	1	2	3
⑤大声で怒鳴る	1	2	3
⑥家族や友人との関わりを制限する	1	2	3
⑦電話・メール・SNSを細かく監視する	1	2	3
⑧ほかの異性との会話を許さない (同性パートナーの場合は同性)	1	2	3
⑨何を言っても長時間無視し続ける	1	2	3
⑩「誰のおかげで生活できているんだ」などと言う	1	2	3
⑪生活費を渡さない	1	2	3
⑫相手の金品を勝手に使ったり、借金を	1	2	3

強要する			
⑬嫌がっているのに性的な行為を強要する	1	2	3
⑭避妊に協力しない	1	2	3

問26 これまでに、夫・妻や恋人など親しい間柄にある（あった）人からの暴力（ドメスティック・バイオレンス）について、経験したり見聞きしたりしたことがありますか。（複数選択可）

1. 暴力を受けたことがある

2. 身近に暴力を受けた人がいる

3. 暴力を受けた人から相談されたことがある

4. 身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある

5. テレビや新聞などで、問題になっていることを知っている

6. 経験したり見聞きしたことはない

7. その他（具体的に： _____ ）

▶<問26で「1. 暴力を受けたことがある」と答えた方に伺います。>

問27 夫・妻や恋人から暴力を受けたとき、あるいはその後、どのような対応をしましたか。

（複数選択可）

1. 暴力を振るった相手に抗議した

2. 家族や身近な人、友人に相談した

3. 公的な相談機関に相談した

4. 警察等に訴えた

5. 仕方がないと思い、何もできなかった

6. 怖くて何もできなかった

7. 世間体や、今後の不利益を考えると何もできなかった

8. 暴力をふるった相手から離れた

8. その他（具体的に： _____ ）

Ⅶ セクシュアル・ハラスメントについて伺います

問28 あなたは、これまでに、セクシュアル・ハラスメント（以下「セクハラ」）について経験したり、見聞きしたりしたことがありますか。（複数選択可）

1. セクハラを受けたことがある

2. 身近にセクハラを受けた人がいる

3. セクハラを受けた人から相談されたことがある

4. 身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある

5. テレビや新聞などで、問題になっていることを知っている

6. 経験したり見聞きしたことはない

7. その他（具体的に： _____ ）

▶<問28で「1. セクハラを受けたことがある」と答えた方におたずねします。>

問29 あなたは、セクハラを受けたとき、あるいはその後、どのような対応をしましたか。

（複数選択可）

1. セクハラを行った相手に抗議した
2. 家族や身近な人、友人に相談した
3. 公的な相談機関に相談した
4. 警察等に相談した
5. 仕方がないと思い、何もできなかった
6. 怖くて何もできなかった
7. 世間体や、今後の不利益を考えると何もできなかった
8. 暴力をふるった相手から離れた
9. その他（具体的に： _____）

IX 防災・復興についてお伺いします

問30 あなたの地域の防災活動における、女性の参画について教えてください。

（複数選択可）

1. 自主防災組織の役員・リーダーを男女双方が担っている
2. 自主防災組織の業務分担を決めるとき、男女の役割を固定的に考えないようにしている
3. 災害時に、性別や年齢、妊産婦、障害の有無などに応じた配慮ができるよう、あらかじめマニュアルなどで対応を決めている
4. 日ごろの近所づきあいで顔を見知っておき、いざという時に助け合える関係をつくっている
5. 女性や乳幼児などが必要とする物資を、地域でも備蓄している
6. 特にない
7. その他（具体的に： _____）
8. わからない

X 性的マイノリティについてお伺いします

問31 あなたの周りに性的マイノリティ（LGBTQ+）の方はいますか。（1つを選択）

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. いる | 2. いない | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

問32 あなたの身近な人（家族、友人、知人）などから、性的マイノリティ（LGBTQ+）であると打ち明けられた場合、あなたの気持ちや態度に近いものはどれですか。（複数選択可）

1. 今までどおり接する
2. どう接すればよいかわからなくなる
3. 距離を置きたいと思う
4. 理解したいと思う
5. 理解がむずかしいと思う
6. 打ち明けてくれてうれしいと思う
7. その他（具体的に： _____）

問33 性的マイノリティ（LGBTQ+）の方々が生活しやすくなるためにどのような施策が必要だと思えますか。

(あてはまるもの全て選択可)

1. 情報発信を通じた啓発活動の充実
2. 相談窓口の充実
3. 小中学校などの学校教員や行政職員への研修の実施
4. 当事者や支援団体、行政等を交えた連絡、意見交換の実施
5. 働きやすい職場環境づくりへの働きかけ
6. 交流の場の充実
7. 理解を深める研修やイベントの開催
8. その他（具体的に： _____）
9. わからない

XI その他についてお伺いします

問34 あなたは市政に女性の意見が反映されていると思いますか。（1つを選択）

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 十分に反映されている | 2. まあまあ反映されている |
| 3. あまり反映されていない | 4. まったく反映されていない |
| 5. その他（ _____ ） | 6. わからない |

問35 あなたの日々の悩みや困っていることは何ですか。男女共同参画との関わりが薄いと思うものでも構いません。（もっともあてはまるもの1つに○）

1. こどもの育児や教育のこと
2. 夫婦間の問題
3. 夫婦以外の親族の問題
4. 家族の健康問題
5. 老親の介護のこと
6. 自分の健康問題
7. 経済的なこと
8. 仕事のこと
9. 忙しすぎて自分の時間がないこと
10. 老後の生活のこと
11. 悩みごとや困っていることはない
12. その他（具体的に： _____）

男女共同参画についてご意見等ありましたらご自由にお書きください。

次のページに続きます→

Ⅱ 多文化共生にかかわることについてお伺いします

問36 あなたは外国に住んだことがありますか。外国での居住経験のある人は、外国に通算何年住んでいましたか。(1つを選択)

- | | |
|----------------|-----------|
| 1. 外国に住んだことはない | 2. 通算1年未満 |
| 3. 通算1年以上5年未満 | 4. 通算5年以上 |

問37 あなたは外国人と以下のような付き合いがありますか。(あてはまるもの全て選択可※過去の経験を含む)

- | |
|------------------------------------------|
| 1. 一緒に働いている(働いていた) |
| 2. 学校で一緒に勉強している、または教えている(勉強していた、教えていた) |
| 3. 友人としてつき合っている(つき合っていた) |
| 4. 自分または親せきが外国人と結婚して日本に住んでいる(住んでいた) |
| 5. 国際交流グループで一緒に活動している(していた) |
| 6. こどもの通う学校でのPTA活動などを通じて、一緒に活動している(していた) |
| 7. 宗教活動(教会など)を通じて、一緒に活動している(していた) |
| 8. その他のグループや地域活動と一緒に参加している(していた) |
| 9. 外国人とあいさつ程度の付き合いはある(あった) |
| 10. 外国に住んだことがある |
| 11. 外国人の知り合いはいないし、付き合いを持ったこともない |

▶<問37で「11.外国人の知り合いはいないし、付き合いを持ったこともない」と答えた方は、お答えください。>

問38 付き合いがない理由は何だと思えますか。(1つを選択)

- | |
|--------------------|
| 1. 付き合いきっかけがない |
| 2. 付き合い雰囲気ではないと感じる |
| 3. 付き合い必要がない |

問39 あなたは、近所や職場で会えば挨拶をする日本人はいますか。(1つを選択)

- | | |
|-----------|----------|
| 1. たくさんいる | 2. 少しいる |
| 3. あまりいない | 4. 全くいない |

問40 地域で暮らす外国人についてどの程度親しみを感じますか。(1つを選択)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 親しみを感じる | 2. どちらかといえば感じる |
| 3. どちらかといえば感じない | 4. 親しみを感じない |

▶問41 問40のように考えるようになった理由を教えてください。(自由記述)

<理由>

問42 あなたは地域や職場において外国人からどのような影響を受けたと感じていますか。

(あてはまるもの全て選択可)

1. 外国の文化に興味を持つようになった
2. 地域や職場のルールを見直すきっかけになった
3. 外国人と交流したり支援したりする機会が増えた
4. 騒音により困ったことがある
5. ゴミ出しルールが守られないことにより困ったことがある
6. その他 (具体的に: _____)
7. 影響はない

問43 多文化共生に関する次の意見についてあなたはどのように思いますか。(それぞれ1つを選択)

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
①外国人は、日本の言語や文化を身につけるべきだ	1	2	3	4
②外国人は、日本の習慣やルールを学ぶべきだ	1	2	3	4
③外国人は、地域の活動に積極的に参加すべきだ	1	2	3	4
④行政は、外国人が日本の言語や文化を学べるよう援助すべきだ	1	2	3	4
⑤行政は、外国人がかれら自身の言語や文化を守れるよう援助すべきだ	1	2	3	4
⑥日本人は、地域に住む外国人の言語や文化を学ぶべきだ	1	2	3	4
⑦日本人は、地域に住む外国人の習慣やルールを学ぶべきだ	1	2	3	4
⑧日本人は、地域の活動に外国人を積極的に受け入れるべきだ	1	2	3	4

問44 地域で暮らす外国人と接するときに、困ったことはありますか。(1つを選択)

1. ある
2. ない

▶<問44で「1. ある」と答えた方に伺います。>

問45 どのような場面でどのようなことに困りましたか。ご自由にお書きください。

問46 地域を外国人とともに暮らしやすい社会にするため、日本人は何をすべきと思いますか。
(あてはまるもの全て選択可)

1. 外国人に対する差別意識をもたないようにする
2. 日本語や日本文化の多様性を日本人が自ら知る努力をする
3. 日本語や日本文化を外国人に学んでもらうようにする
4. 日本で生活するルールを外国人が守るように呼びかける
5. 地域住民との交流や地域の活動に外国人の参加を呼びかける
6. 外国語の言葉や文化を学ぶ
7. やさしい日本語で、外国人が理解できるようにコミュニケーションをとる
8. その他 (具体的に： _____)

問47 日本人と外国人がともに暮らしやすい社会にしていくために、行政はどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。(あてはまるもの全て選択可)

1. 行政サービス情報を多言語で表記する
2. 緊急時に防災情報を多言語で放送する
3. 労働相談や生活相談をしやすいように多言語の通訳をつける
4. 医療通訳を充実する
5. 無料の日本語教室を開く
6. 日本人と外国人の交流の場を設ける
7. 生活相談などに対して丁寧に対応する窓口を設ける
8. 公営住宅を充実させる
9. 企業に対して労働規約の遵守などを指導する
10. 職業訓練を受けやすいようにカリキュラムを工夫する
11. 日本人が外国文化などを理解する機会を設ける

多文化共生についてご意見等ありましたらご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただきました市民意識調査票は同封の返信用封筒(切手は不要)に入れ、

●月●日(●)までにご投函くださいますようお願い申し上げます。